

アジア共同体の創成プロセス

21世紀の今「歴史の潮流はアジア統合へ」との議論が盛んだ。
アジア共同体の創成は実現するか、各国の専門家が徹底検証！

「アジア共同体の創成」とは

東北アジア、東南アジア、中央アジアをふくめた40数カ国、世界の人口の約半数を占める30数億人の共同体を、できるだけ近い将来に創成することを目指す理念。「豊かで平和で安全なアジア共同体」の創成により、「アジアのみならず世界の平和と安定、発展に貢献すること」を目標にする。

歴史の潮流はアジア地域の統合へ

2015年末には「ASEAN 経済共同体」が発足するほか「ASEAN+日中韓」「ASEAN+6」といった地域協力の枠組みも着実に進む。「日中韓3カ国サミット」「日中韓 FTA 交渉」も開催を重ね、いよいよ「アジア共同体」の創成に関心が集まっている。共同体の創成は実現するか？ 創成のプロセスとは？

シリーズ講座で学生向けにわかりやすく講義

「アジア共同体の創成プロセス」について日本をはじめ中国、朝鮮半島、モンゴル、ロシアなどアジア各国の専門家、外交官らが、学生・市民向けにわかりやすく講義。本書には、「東アジアの理解と共同体の問題意識」「東アジア共同体と日中関係」「モンゴル - 日本関係と北東アジア地域協力に果たす役割」「金正恩時代の経済政策の特徴と朝鮮社会主義の方向性」など、講座内容の多様な論文を一挙収録！

アジア各国への理解をいっそう深めてほしい

「アジアで共同体を作るといって、それは夢のまた夢だという人もいよう。だが、夢があるからこそアジアの未来を語ることができる。しかもその夢を実現する様々な取り組みが、日本やアジア各国で行われている」。編著者の李鋼哲教授は、本書を通じてアジア各国への理解をいっそう深めてほしいと語る。

執筆者

叶秋男 佐藤洋治 李鋼哲 鄭俊坤 李東哲 谷口誠
フレルバータル 美根慶樹 趙世暎 三村光弘
平川均 唱新 金澤泉 王大鵬 A・ベロフ 金振
杉山正樹 崔学松 朴敬玉 (掲載順・敬称略)

李鋼哲・編著 ISBN 978-4-86185-183-4



【編著者略歴】



李鋼哲：中国吉林省生まれの朝鮮族。中国・北京で大学卒業・大学院修了後、大学教員として4年間勤務。1991年来日し、立教大学大学院修士・博士課程修了。東京財団の研究者として「北東アジア開発銀行」設立に関する研究を行い、小泉首相（当時）に政策提言をした経験を持つ。また総合研究開発機構（NIRA）で北東アジアブランドデザインに関する政策研究にあたり、政府に政策提言などを行う。現・北陸大学教授。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 その他 取次コード：5752)

	ご注文 住所、氏名、電話番号をご記入ください	アジア共同体の創成プロセス ISBN 978-4-86185-183-4 発行日：2015年4月20日 A5判 315頁 並製 定価：本体2800円 + 税	番線印
	注文部数 部	日本僑報社 e-shop http://duan.jp	
送信 FAX 03-5956-2809			